HUSA

	28 1 20
	27 9 1 27 12 31
	—
	—

		800000		
			200000	
			60000	
		( )		
			140000	
			100000	
			300000	

[redacted]

学習の概要に関するレポート

私は広島大学で教育学部の教員養成系コースに所属しているため、派遣先大学でも同じようなコースを選びました。私が受講したのは、教育系の授業４つ、英語の授業１つ、フィンランド語の授業１つです。

基本的には、１コマあたり９０～１５０分の授業が週に一度でしたが、単位数や授業の回数、教室等、日本と比べると少し変則的なので、履修登録の際は注意してください。また、一つ一つの授業が大変なので、あまり多く履修しすぎると予習、復習が大変です。

授業によって講義スタイルが大きく異なります。私の場合、個人もしくはグループでプレゼンテーションをするもの、教育フォーラムに参加するもの、ディスカッションをするもの等様々でした。留学生向けに開講されている授業を履修するので、フィンランドの教育についてだけでなく、世界各国の教育について学べました。私の受講したものの１つは、大学院生向けのものだったので、予習やプレゼンテーションで多くの論文を読んだり、専門的で難解な授業を受けたりと大変でした。

私が一番好きだった授業は、フィンランド語１です。初級者向けに開講されているのは主に、「Survival Finnish」と「Finnish 1」で、前者は授業回数５～６回と少ないのですが、後者は週に３回と、とてもハードです。フィンランド語学習を始めたばかりの人だらけでしたが、初級者とは思えない人も多くいて、とても刺激になりました。全く知らない言語を学ぶのはとても刺激的で、面白いと思うのでオススメです。フィンランド人の英語はとても流暢ですが、やはり母語で話しかけられた方が親しみやすいと思いますし、自分のフィンランド語が通じた時はとても嬉しいです。

Each One Teach One という授業（広島大学でいうと会話パートナー）では、２人１組で、お互いの言語を教えあうことができます。私の日本人の友達たちの場合、フィンランド人とペアを組む人、ドイツ人と組む人等様々でした。言語能力を高め合うだけでなく、仲を深めて、休日に遊んだりしていたので、良いなあ、と思いました。

私は９月に渡航したのですが、８月中旬から英語とフィンランド語の授業が開講しているので、参加するのをお勧めします。

授業とは別に、学部長の先生が企画してくださった、附属小学校見学ツアーに２度参加しました。大学内に小学校があり、４５分間、児童がガイドしてくれます。小学生なのに通

START